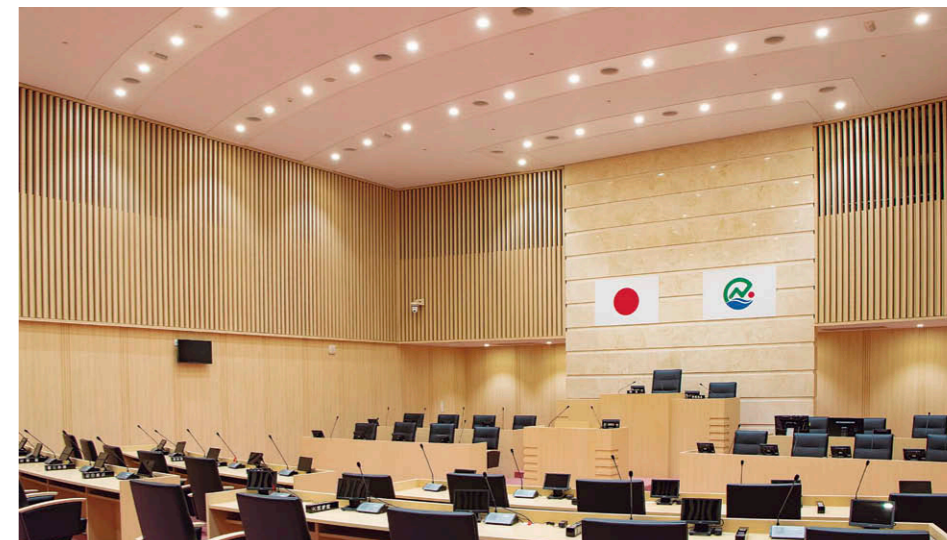


美しい自然と沖縄由来の文化遺産が魅力の南城市が、これまで分散していた庁舎機能を一カ所に集めるため、新たな市庁舎施設を建築しました。グスク（城）をイメージコンセプトとして設計された建屋は、堂々とした外観に防災拠点施設としての強靭さを持ち、すべての照明器具に省電力で長寿命のLED光源器具が採用されました。

2006年に沖縄本島南東部の4町村が合併して誕生した南城市は、旧庁舎の利用により分散していた市役所機能を統合する形で、2018年5月、市中央部丘陵に新庁舎を建設。市役所と市議会に加えて、保健センターや市社会福祉協議会、農協、飲食店なども入居する、多様な市民サービスを提供できる複合施設となっています。建物は地上4階建て、災害時の防災拠点・避難施設としての役割も果たせるよう設計されています。



【物件概要】
所在地：沖縄県南城市佐数字新里 1870 番地
建築面積：6,567.08 m²
延床面積：15,945.67 m²
構造：鉄筋コンクリート造 地上 4 階
施主：南城市
設計：(株)国建・(株)総合設計玉城 特定委託業務共同企業体
施工：(株)沖縄特電・(株)沖縄計装・(株)沖縄科学 AV センター 特定建設工事共同企業体
竣工：2018 年 5 月



4階議場 高さ6.5mの天井に議長席を中心に円弧状に配置された白色深形タイプのLEDライトエンジンダウンライト6000シリーズ (4000K) ④



4階全員協議会室 白い天井面に調和するLED ベースライトー 4階展望ロビー 屋外ライトアップと違和感なく一体化する照明演出。

市民サービスの拠点として相応しい、温もりある照明環境を色温度 4000K のベース照明で演出。

建物は左右約 120m と大きく、地上 4 階建ての鉄筋コンクリート造。屋内は広さにゆとりをもった空間で構成され、避難施設としての安全性が確保されるとともに防災拠点施設としての機能も備えています。フロアの主な構成は、1～3 階が市役所、4 階が市議会となっており、市民課や国保年金課といった利用者の多いサービス機能や災害時に避難所としても使用できる大会議室を 1 階に配しています。

正面エントランスから建物内に進むと、左右に見通しがよく開放的な無柱空間が広がり、待合を兼ねた中央通路では人の動線上に LED ダウ

ンライト器具が設置され、落ち着いた雰囲気醸成しています。カウンター奥側の執務エリアには LED ベースライト器具が窓側から通路側までを 5 灯 1 列として約 2m 間隔でレイアウトされ、アンビエント照明として十分な机上上面平均照度約 750 ルクスを確保。差し込む外光を活かせるよう、窓側の 2 台は調光タイプが選ばれています。

主要な屋内照明器具はほとんどが色温度 4000K の白色タイプで、執務空間としての緊張感とサービス空間としての温かみを両立した照明演出となっています。

1階総合カウンター付近 手前側中央通路にはLEDライトエンジンダウンライト①を、奥側執務スペースにはTENQOOシリーズ直付形②③を採用。光源色はともに白色4000K。



② TENQOOシリーズ直付形 (40タイプW120)

④ LEDライトエンジンダウンライト 白色深形



授乳室 空をイメージした光がリラックス感を与える SORAIRO 薄暮時外観 市中央部の丘陵上に建てられ市内の多くのポイントから遠望できる新庁舎は、災害時には漏れ出る明かりが避難先としての存在感を際立たせるよう、窓の面積を大きくとった設計。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考
屋内	①LEDライトエンジンダウンライトー一般形 (2000クラス)	LEDD-16002M-LD9	867	消費電力：18.2W
	②TENQOOシリーズ直付形 (40タイプW120)	LEKT412523W-LS9	675	消費電力：32.5W
	③TENQOOシリーズ直付形 (40タイプW120調光)	LEKT412523W-LD9	310	消費電力：32.5W
	④電源別置形LEDライトエンジンダウンライト白色深形	LEDD-17311(W)-LD9	148	消費電力：48.6W
	⑤TENQOOスクエア埋込形	LEKR745851FW-LD9	100	消費電力：43.0W
	⑥TENQOOシリーズSORAIRO [ソライロ] (調光)	LEKR760125BW-LD9	2	消費電力：65.9W